



きこえとことばの教室だより NO.2

令和8年7月6日 昭島市立富士見丘小学校 きこえとことばの教室

☎042-544-1921

7月を迎え、子供たちは近づく夏休みを心待ちにしているのではないのでしょうか。

1学期の通級では、遠足や高学年の宿泊学習の行事、日常生活の出来事などを楽しそうに話してくれました。夏休みは様々な経験ができる機会です。2学期の通級で子供たちから話を聞くのを楽しみにしています。暑さが本格的になる季節ですので、体調と安全に気を付けてお過ごしください。

グループ活動の紹介

きこえとことばの教室では、児童同士の交流を深め、安心感や仲間意識を育てるとともに、正しい知識について学ぶためにグループ活動を行っています。1学期の活動の様子を一部、ご紹介いたします。

〇ことばグループ（吃音）

1学期は、4名が集まって学習を行いました。自分の吃音に対する思いを伝え合う学習では、
・放送委員がやりたかったけれど、吃音が出たらどうしようと思ってやめた。
・クラスの人は気にしていないけど、つまって笑われたらいやだなと思う。
・吃音のことはちょっと気になったけど、前からやりたかったから放送委員になった。吃音のことはみんな気にしていないみたい。やってみたら楽しかった。
・吃音の理解授業をしたことで、皆が分かってくれてから吃音に対する嫌な気持ちが前よりも少なくなった。

など、様々な意見が出てきました。



〇きこえグループ（難聴）

今年度は、2名でのペア学習を行っています。
「補聴器のことを知ろう」では、補聴器はどのような仕組みになっているのか、どうやって音を大きくするのかなどを学習しました。補聴器は水に濡れると壊れてしまうため、気を付けるポイントなども関心をもって聞くことができました。
「季節のことばビンゴ」では、相手が聞き取りやすい声の大きさを意識しながら、虹やアジサイなどについて知っていることをお互いに伝え合いました。



夏の施設見学会のお知らせ

きこえとことばの教室はどんなところで通級指導をしているのか、どんな教材を使っているのかなど、保護者を始め、各学校の先生方にもご覧いただける機会となっております。市内唯一の学級ですので、この機会にぜひ足をお運びください。

〇日時：7月21日（火）13時30分～15時30分、22日（水）13時30分～15時30分、23日（木）9時00分～12時00分

〇場所：富士見丘小学校 きこえとことばの教室（北校舎3階）

※予約の必要はありません。ご都合のよい時間に直接お越しください。

※詳細は、各校にお知らせを配布しております。また、富士見丘小学校のHPにも掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

《9月以降の予定》



9月	10月	11月
2日（水）2学期指導開始 9日（水）午後指導なし 16日（水）きこえグループ 30日（水）午後指導なし	5日（月）～16日（金）保護者面談週間 7日（水）ことばグループ 9日（金）午後指導なし 13日（火）振替休業日 28日（水）午後指導なし	11日（水）ことばグループ 18日（水）きこえグループ 19日（木）音楽会① 20日（金）音楽会② 午前指導なし

※予定が変更となる場合もございます。その際は連絡帳でお知らせいたしますので、ご確認ください。

発音について

発音の習得時期

発音は、乳幼児期からの言葉のやりとりの中で自然に習得し、6歳頃にほぼ完成します。食べる機能の発達や音声を意味のある音として聞き取る力の発達に伴って、発音方法の簡単なものから順に言えるようになっていきます。個人差はありますが、おおよそ下記のような発達の順序を経ていきます。

1歳頃	パ行、バ行、マ行
2歳頃	タ行、ダ行、ナ行
3歳頃	ヤ行、ワ行、カ行、ガ行
4歳頃	ハ行
5～7歳頃 ※	サ行、ザ行、ツ、ラ行

舌を使わずに唇を使って発音する「パ・バ・マ行」は早い時期に言えるようになる音なので、赤ちゃんが最初に発する言葉は「パ・バ」「ママ」が多いのです！



この時期の発達は個人差が大きく、小学校入学の段階で「サ・ザ・ラ行」がうまく発音できないこともあります。しかし、1年生2学期頃には、ほとんどのお子さんが自然に正しく発音できるようになっていきます。

発音の誤りとは？

発音を習得する過程の中で、子音を省略したり、ある音が他の音に置き換わったりすることがあります。以下のような発音の誤りは、成長とともに自然に正しく発音できるようになることが多いです。

音	よく見られる誤り方
カキクケコ	タ・チ・トウ・テ・ト
ガギグゲゴ	ダ・ディ・ドウ・デ・ド
ハヒフヘホ	ア・イ・ウ・エ・オ(子音の省略)
サシスセソ	タ・チ・トウ・テ・ト / チャ・チ・チュ・チェ・チョ シャ・(シ)・シュ・シェ・ショ
ザジズゼゾ	ダ・ディ・ドウ・デ・ド / ジャ・(ジ)・ジュ・ジェ・ジョ
ツ	チュ
ラリルレロ	ダ・ディ・ドウ・デ・ド / ア・イ・ウ・エ・オ(子音の省略)

発音の習得時期を過ぎてもなかなか上手に発音できない場合は、発音練習が必要なケースもありますので、ぜひきこえとことばの教室への相談をご検討ください。



発音の誤りがある子への接し方

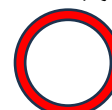
発音の誤りがある場合、言い直しをさせてもまだ正しく発音できないことが多いため、発音についての注意や指摘はしないでください。無理に言い直しをさせようとすると、余計な力を入れて発音する癖がついてしまったり、話すことに消極的になってしまったりすることがあります。発音が誤っていると感じた時は、発音の言い直しをさせるのではなく、正しい発音で言葉を返してあげてください。楽しく話すことができるよう、発音の誤りの有無ではなく、話の内容に耳を傾けて「よい聞き手」になってあげてください。

ちよう、
だっとうでね…



だっとうじゃなくて、
がっこうでしょ！
もう一回言ってみて。

ちよう、
だっとうでね…



きよう、
がっこうで
何があったの？